

# SHM工法

(スラリー系機械攪拌式浅層地盤改良工法)

建築技術性能証明取得工法  
(GBRC 性能証明 第12-04)

株式会社平林工業

# 工法の概要

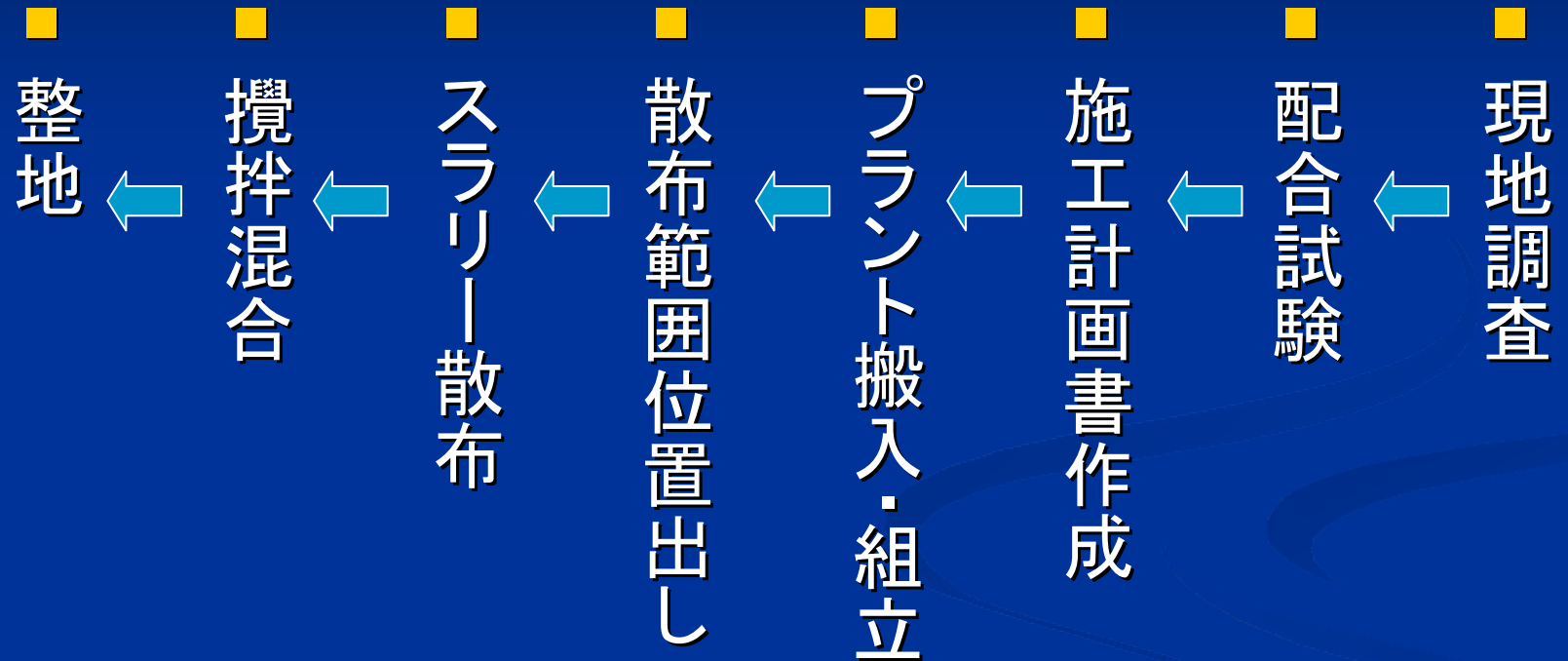
本工法は、浅層の軟弱地盤に、プラントにて製造したセメントスラリー(セメントミルク)を添加・攪拌混合を行うことによりモルタル状として固化する工法である。

ベースマシンの汎用のバックホーに攪拌用バケットを装着し、アーム部分に装着した自社独自開発のスラリー散布装置からセメントスラリーを吐出させながら確実に均一な改良体を造成できる。また、施工管理システムにより、攪拌深さ・スラリー注入量を運転席のタッチパネルに表示し、リアルタイムに管理・記録できる。

# 特徴

- 粉体使用と比較し固化材の飛散がほぼ皆無である。
- 施工管理装置により添加量および改良深度をリアルタイムに管理し施工データをPC出力できる。
- 汎用のバックホーで散布及び混合攪拌が可能である。
- 対象土質は、ローム・粘性土・砂質土・礫質土で可能であり、現場の条件および施工地盤により施工機を選定することができる。

# 作業手順



# 品質管理

## ■ モールドコアによる一軸圧縮試験による強度確認

※攪拌混合完了後モールドに改良土を充填し 4W (必要に応じて1W)の強度確認を行う。

## ■ 平板載荷試験による改良後の支持力確認

※室内配合試験の強度発現傾向を参考に最低1W 基本的には4Wで試験を行い支持力を確認する。